

はしもとあのねの森

笑顔あふれる仲間の創造

5月 橋本小学校
学校だより

令和 8年 4月 30日

<http://www.sagamihara-hashimoto-e.ed.jp/>



見通しをもち、主体的に取り組むために 「きく（聞く・聴く）」について

校長 農上 勝也

4月中に実施しました授業参観、懇談会には、多くの保護者の方々にご出席いただきありがとうございました。

始業式・入学式にわくわくときどきしながら登校してきた子どもたち。だれもが「がんばりたい」「楽しみたい」という気持ちとともに新しい環境への不安もあったと思います。学校では、子どもたちの期待や不安を受けとめ4月の教育活動を進めてきました。また、目標や学校のきまりを確かめ、だれも見通しをもち、安心して過ごせるよう取り組んできました。

授業や学年集会等の様子を見て回っていると、どの学年やクラスでも職員が子どもたちに話していることがあります。それは「きく（聞く・聴く）」ことについてです。

- ◆「静かにきこう」
- ◆「話している人を見てきこう」
- ◆「最後まできこう」
- ◆「聞き逃さないようにきこう」

そして、「なぜきくのか」についても説明していました。大きくまとめると、

- ◇説明や指示の話 →自分が何をするのか、どうすればよいか分かる
- ◇学習内容の話 →学習内容の理解につながる
- ◇友だちの考えや意見 →自分の考えが深まる 他者理解につながる
- ◇周りへの影響 →（おしゃべりは）迷惑、話している人に失礼

「※きく（聞く・聴く）」は受け身の姿勢のように感じるかもしれませんが、次につながる能動的な行為です。「きく（聞く・聴く）」ことを大切にし、児童が見通しをもち、主体的に行動することができるよう取り組んでいます。

※「聞く」は、音や声を耳に感じ認める意、

「聴く」は聞こえるものの内容を理解

しようと思って進んでいく意

（『類語国語辞典』角川書店）より

神奈川フィルハーモニー管弦楽団の
演奏を聴いている子どもたち（4/24 金）

